

ニュース・玉川大学ミツバチ科学研究施設から

アピモンディア開催

1997年9月1～6日、第35回国際養蜂会議がベルギーのアントワープ市で開催された。詳細は次号に掲載予定。

第4回国際蜂療保健蜂針療法 学術研究会大会開催

標記の会議が、1997年10月20・21日に東京日暮里サニーホールで開催され、「ミツバチによる21世紀の第三の医療」を総合テーマに、各種生産物および蜂針療法による研究、臨床報告の発表、蜂針実技教室、および展示が行われた（詳報掲載予定）。

プロポリス研究者協会が発足

プロポリスに関する各分野の研究者が、情報交流を中心に総合的な研究を進めようと、標記の会を発足させた。設立総会および記念講演会がブラジルから2名の研究者を招聘して11月14日東京赤坂東急ホテルで開催される。

協会の会費は個人会員1万円。協会、講演会に関するお問い合わせは下記まで。

〒160 新宿区新宿 2-3-11 中根ビル 3F 同協会
fax : 03-3226-5943

ローヤルゼリー公正取引協議会と プロポリス協議会が10周年

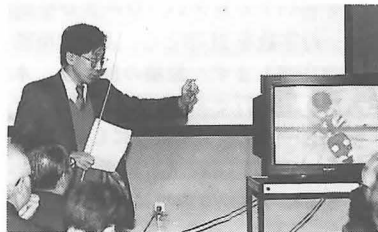
1997年7月2日、ローヤルゼリー公正取引協議会の社団法人設立10周年記念式典が行われ、毎日新聞紙上などに大きく掲載された。松香教授が講師の一人として、ミツバチにとってのローヤルゼリーについて講演した。また9月17日には、日本プロポリス協議会の設立10周年記念祝賀会が行われ、席上で、松香教授が、同協議会の自主基準制定に貢献したとして感謝状を受けた。

訃報 井上 民二 教授

京都大学教授、熱帯雨林の送粉生態系やハナバチの社会性進化の国際的な研究者である井上民二氏（49才）は1997年9月6日午後7時半頃、マレーシア国サラワク州ランビル国立公園にて、飛行機事故に遭遇し急逝された。京大大学生態学研究センターのホームページ <http://ecology.kyoto-u.ac.jp/news.html> ほかで井上教授のプロフィールや内外から寄せられた弔辞などが閲覧できるのでそちらもご利用いただきたい。

本誌11巻2号に「ユカタン紀行—マヤの養蜂を求めて—」をご寄稿いただいたほか、第12回ミツバチ科学研究会では「新熱帯のハナバチと養蜂」と題して講演していただいた。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。



講演中の井上教授（1990年1月）

編集後記

スズメバチが多いとの予想に反して玉川大学ではキロスズメバチが例年になく少なかったが、オオスズメバチの攻撃は例年以上に猛烈で、アピモンディア参加で留守にしている間、トラップなしでは無事には済まなかったようだ。改めてスズメバチトラップの重要性を知った。アピモンディアについては次号でお知らせする。ネパールでの第4回アジア養蜂研究協会大会も近づいてきた。そろそろ計画に組み入れてはいかがだろうか。今号でネパールの養蜂振興の状況を現地からお伝えした。井上、山崎両氏の記事のようなミツバチ関連博物館、展示場についてはさらに情報を集めて掲載していきたい。ご本人でも、紹介いただける方でも情報を寄せていただければありがたい。（純）